

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 12日

中施策事業名	市道等維持管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路、橋梁及び公共用物の占用、承認工事に関すること ・道路及び公共用物の維持修繕に関すること ・定期及び春秋の土砂回収業務に関すること ・橋梁の長寿命化計画及び実施に関すること ・道路等の草刈業務に関すること ・道路等照明施設の維持修繕に関すること ・道路パトロールの実施並びに対応に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
路面調査による舗装修繕進捗率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	25	50	75	100	0
	実績値	100	25				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				248, 401千円	276, 210千円	
	a 事業費合計			248, 401千円	276, 210千円	299, 851千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				18, 262千円	11, 734千円	24, 550千円
③ コスト (①－②)				230, 139千円	264, 476千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				3, 344 円	3, 843 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁及び横断歩道橋の点検を実施した。また道路舗装個別設計画に基づき、老朽化した道路舗装を長寿命化のために計画的に修繕を実施した。道路付属物の照明施設をすべてLED化したことにより、経費の削減及び温室効果ガスの排出抑制を行うことができた。道路等の草刈りを従来以上の頻度で実施した箇所もあり、車両の視認性を確保し、道路の利用者が安全で安心して通行できる道路環境の整備に努めた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	地域の魅力が高められることを念頭に、引き続き計画的に橋梁の点検、修繕および道路舗装の長寿命化のための修繕を進めていくとともに、地域の事業者のビジネス支援および地域貢献の場の提供となる道路、横断歩道橋のネーミングライツ事業を進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	インフラ施設DXを順次進めていき、業務の省人化、迅速化、および効率化を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 12日

中施策事業名	交通安全施設管理・整備事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・交通安全施設要望の事務に関すること ・交通安全施設の維持補修に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
通学路安全プログラムによる交通安全施設整備実施率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	0	0	0
	実績値	100	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				30, 898千円	30, 180千円	
	a 事業費合計			30, 898千円	30, 180千円	33, 424千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				3, 575千円
③ コスト (①－②)				27, 323千円	27, 430千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				397 円	399 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>市内各区より提出された交通安全施設工事要望書に基づき、対策が必要な個所の施設の整備を実施した。</p> <p>通学路交通安全プログラムに基づき、道路管理者として対策が必要として抽出された箇所の整備を実施した。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>市内各区より提出される交通安全施設工事要望書においては、緊急性、公共性等をもとに優先度を考慮し実施していく。</p> <p>通学路交通安全プログラムについては、積み残しがないように確実にかつ継続的に実施していく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	交通安全施設工事要望書、通学路交通安全プログラムともに確実な運用を継続的に実施していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 17日

中施策事業名	道路新設改良事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安心して通行できるよう道路が整備管理されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関すること ・道路、橋梁工事の調査及び設計施工に関すること ・道路、橋梁工事の災害復旧に関すること ・社会資本総合整備計画（道路局）に関すること ・市町村土木補助事業に関すること ・特定交通安全施設等整備計画に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
区長要望工事の採 択率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	35	50	50	50	35	0
	実績値	49	47				
単位	%						
管理者施工	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4	4	4	4	4	0
	実績値	6	5				
単位	箇所						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				172, 351千円	172, 708千円	
	a 事業費合計			172, 351千円	172, 708千円	180, 962千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				32, 459千円
③ コスト (①－②)				139, 892千円	107, 583千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2, 033 円	1, 563 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>R4年度から区長要望工事に充当する予算が5年間増額となった。区長要望工事をより採択できることが可能となった為、採択率や工事実施数が上昇傾向である。よって、車、歩行者が安全で安心して通行できる交通環境が実施できたことや、その他の区長要望工事を採択し実施することができた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>管理者施工として、現在整備を実施中の地区に加えて、側溝等の老朽化が著しい地区について、施工後40年以上経過しており、早急な対応が必要である。</p> <p>県道名古屋岡崎線の整備に合わせ、関連する市道の整備を行う。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>整備計画に基づき、計画的に施工を実施する。</p> <p>引き続き県道名古屋岡崎線の進捗に合わせて、整備を進めていく。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 12日

中施策事業名	街路樹管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	緑の多い生活環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	緑の多い生活環境となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 街路樹の維持管理に関すること ・ アダプトプログラムに関すること。		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
街路樹による要望等の件数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	20	20	20	20	20	0
	実績値	22	24				
単位	件						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				41, 325千円	42, 543千円	
	a 事業費合計			41, 325千円	42, 543千円	45, 018千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			41, 325千円	42, 543千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			601 円	618 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>街路樹の適正な管理に努めているが、経年による樹木の巨大化、近年の猛暑による樹木の生育過剰が原因と思われることにより目標値の達成はできなかったが、交通安全上支障となる街路樹の伐採、剪定を優先度をもって実施した。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>経年により巨大化した樹木、倒伏の恐れのある樹木、道路管理違いへの影響を及ぼす樹木については優先的に伐採、剪定等を行い適正な管理に努める。</p> <p>植樹帯の道路管理基準の変更に伴い順次、基準に適合するように、改善していく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>引き続き、都度の点検を行い適切に管理を実施していくとともに、順次、道路管理基準基準に適合するように、改善していく。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 17日

中施策事業名	農業環境保全事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	農地（勅使水系）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	広域的な活動による農地の保全管理		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 多面的機能支払事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
事業の達成率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	82	83	84	85	86	0
	実績値	82	83				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				6,676千円	6,833千円		
	a 事業費合計			6,676千円	6,833千円	7,150千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				4,877千円	4,954千円
③ コスト (①－②)				1,799千円	1,879千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				26 円	27 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>勅使水系環境保全の会における多面的機能支払交付金の活用がより効果的となるよう、定期的に役員会を開催し中間報告等を行い、効率的な活動を促進することで目標を達成することができた。引き続き対象地域の草刈りや水路の清掃、機能診断を行い、適切な保全管理を支援した。また、田んぼダムの試験施工に積極的に取り組んで頂き、流量調整板の材料比較結果等の有益な情報や成果を得ることができた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	・毎年度の評価結果を踏まえ翌年度の活動内容を見直し、目標に向けた効率的な活動を推進する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	・農業農村地域に存する排水路等については、設置後30年以上経過しており老朽化等により施設破損が発生している。施設の機能が適正に維持、発揮できるようにするため、長寿命化対策の地区計画に基づき実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 17日

中施策事業名	総合治水対策事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備えて地域での準備を促す		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	総合治水対策事業を行うことで、水害に強い街を作り、市民の生命財産を守ることができる。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・雨水貯留施設の実施に関する事。県営事業の実施に関する事。田んぼダム治水対策事業の実施に関する事。		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
雨水貯留施設整備率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	60	65	70	75	85	0
	実績値	60	65				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				33, 651千円	62, 078千円		
	a 事業費合計			33, 651千円	62, 078千円	559, 277千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				2, 447千円	51, 957千円
③ コスト (①－②)				31, 204千円	10, 121千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				453 円	147 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災調整池治水対策事業の井堰川排水区は、対策箇所の見直しを行い大幅な事業費削減と事業期間の短縮となった。 ・ 県との調整が必要なため池の余水吐き改修については、引き続き調整を行っていく。 ・ 田んぼダム治水対策事業は、試験施工やシミュレーション結果より事業費の削減や優先地域の選定等の有益な情報を得ることができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災調整池治水対策事業は試掘調査結果より、掘削範囲予定の一部でコンクリート殻やアスファルト殻の産業廃棄物が確認された。詳細設計で図面と数量計算書にその範囲を反映し、工事発注する。 ・ 排水路拡張事業（県道名古屋岡崎線関連）は、緊急自然災害防止対策事業債の活用を検討する。 ・ ロードマップの進捗管理については、市が主催しているイベント等で情報発信していく。 	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災調整池治水対策事業 <p>R8年度早期に工事完了させ、事業効果をより早く発揮させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水路拡張事業（県道名古屋岡崎線関連） <p>工事発注に向け準備を進め、湛水予防効果をより早く発揮させる。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 11日

中施策事業名	土地改良施設維持管理事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業施設の長寿命化を図ることで、安定した農業基盤の基もと農業を営むことができる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・農業土木工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関すること・排水機の維持管理に関すること・維持管理適正化事業に関すること・単県事業（工事発注、申請書作成）に関すること・土地改良施設（ため池、用排水路）の維持管理に関すること・農業取水施設等の他自治体との調整に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
維持管理施設整備率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	70	70	70	70	70	0
	実績値	70	70				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				138, 735千円	214, 289千円	
	a 事業費合計			138, 735千円	214, 289千円	82, 052千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				6, 769千円	170, 707千円	43, 688千円
③ コスト (①－②)				131, 966千円	43, 582千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 918 円	633 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>排水機場・用水路等の土地改良施設に対して、適切な時期に適切な内容で維持管理をすることにより、施設の長寿命化を図る事業である。これまで、補助金を活用し、ため池の改修等を行うことにより目標を達成できた。</p> <p>・農水管改修工事（市道沓掛北134号）・遊水池浚渫工事（阿野排水機場）のため事業費の大幅増であったが、県費や適正化事業を活用し工事完了できた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>・排水機場等監視操作事業</p> <p>排水機場運転者の高齢化と担い手不足の為、排水機場を自動化し運転を管理委託することにより排水区域の湛水防除を維持する。大脇排水機場運転者の体調不良による早期委託発注が必要である。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>次年度以降も改善事項が継続できるよう関係機関と調整し事務を行う。</p> <p>土地改良施設デジタル化事業</p> <p>・漏水箇所の早期把握や治水対策に有効である、ため池による事前放流の管理、ため池県営耐震事業による施設管理を行う。</p> <p>・膨大にある農業施設の適切な管理を計画的に行い、生産組合や水利組合等からの埋設管調査依頼の迅速な対応と効率化を図る。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 下山除塵機設置事業	<p>内容、理由、時期等</p> <p>水路のサイフォン呑口全面にあるスクリーンに、除塵機を設置することにより、刈り草等に阻害されないよう適切な通水管理を行う為。</p>
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等